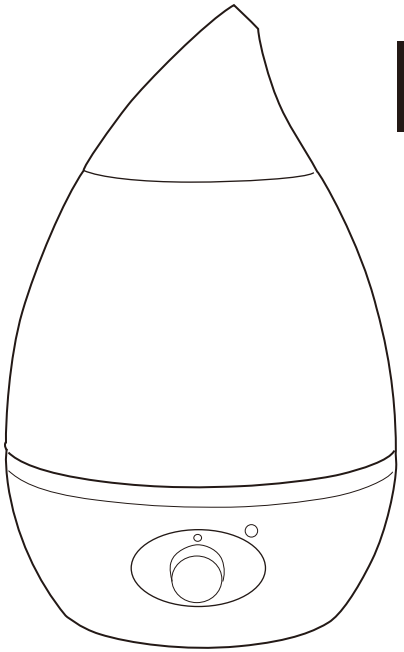
LEDライト付き

超音波加湿器

品番：J22

取扱説明書



本製品は日本国内においてのみ使用可能です。This product can be used only in Japan.

このたびは、弊社製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みになり、ご理解されたうえで
正しくお使いください。取扱説明書は大切に保管してください。

MADE IN CHINA

安全上のご注意

商品及び取扱説明書にはお使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全にお使い頂くために重要な内容を記載しています。次の内容（表示、図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明	
⚠ 警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負うことが想定されるか、または物的障害の発生が想定される内容」を示しています。

図記号の意味について	
⊘	『してはいけないこと』を意味しています。具体的な禁止事項は、⊘の中や近くに文章や絵で示しています。
●	『必ずすること』を意味しています。具体的な強制事項は、●の中や近くに文章や絵で示しています。

⚠ 警告

⊘ 禁止	**交流 100V 以外では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、束ねたり、重い物を乗せたりしない。 火災・感電の原因になります。
	電源コードが傷んだり、コンセントの差込がゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。
	子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・感電の原因になります。
	本体の隙間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 けが・感電の原因になります。

⚠ 警告

使用禁止	**異常時 (焦げ臭い、発煙など) は 電源プラグを抜き、使用を停止する。** 火災・感電の原因になります。
指示	**電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。** 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源プラグおよびプラグの取り付け面に埃が付着している場合は拭き取る。 埃が付着したまま 電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
プラグを抜く	**使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。** 火災や故障の原因になります。
	お手入れの際は、安全のため 電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
分解禁止	**分解したり、自分で修理したりしない。** 感電・火災・けがの原因になります。
濡れ手禁止	**濡れた手で 電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
水濡れ禁止	**水に浸けたり、水をかけたりしない。** ショート・感電の原因になります。

安全上のご注意

禁止	**湿度の高いところ (85% 以上) では使用しない。** 室内を濡らしたり、故障の原因となります。
	家具・壁・カーテン・天井などにミストが直接あたるところでは使用しない。 家具・壁にシミが付いたり、変形の原因になります。
	イヌやネコなどのペットの為に使用しない。 ペットが本体や電源コードを傷め、火災の原因になることがあります。
	傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、けがの恐れがあります。
	ミストの吹出し口に指を入れない。 けがの恐れがあります。
	水道水以外を使用しない。 ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水垢が多くなったりして、異臭の原因になります。
	お湯 (40 度以上) を使用しない。 変形・誤作動の原因になります。
	アロマオイルなど芳香剤をタンク内へ絶対に入れない。 本体の破損、故障の原因になります。
	本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 本体が倒れやすく、水漏れや故障の原因になります。
	お手入れの際に住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。

⚠ 注意

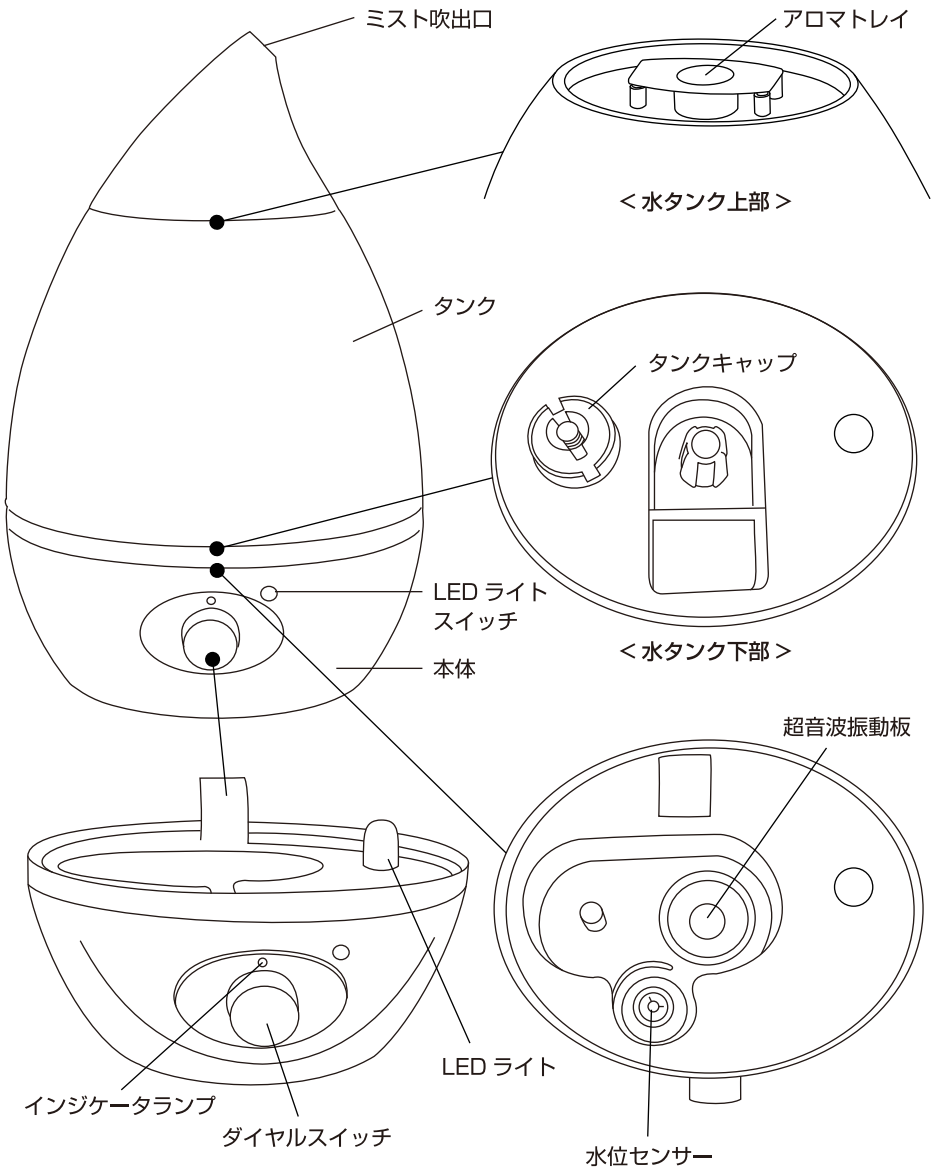
禁止	**電源プラグを抜く時は電源コードを持たずにプラグを持って引き抜く。** 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。
	本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。
	水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れをせずにお使いになると、汚れや水垢により、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。
	本製品の近くに携帯電話やパソコンなどの電子機器を置かない。 運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は近くに置かないでください。故障の原因になる恐れがあります。
注意	**凍結に注意する。** 凍結の恐れがあるときは、本体の水を捨てる。
	本製品はテレビ、ラジオなどから 2m 以上離して設置する。雑音の原因になる場合があります。
	本体を傾けない。 水がこぼれる恐れがあります。

常に清潔に保つようにしてください。

警告

加湿器を使用する際に、使用毎に必ず水を入れ替えるようにしてください。
常温の水を貯蔵する超音波加湿器は、定期的な手入れをしなければ、菌が増殖する恐れがあります。菌が増殖すると、咳などの原因となり、健康を害する恐れがありますのでご注意ください。
水の注ぎ足しや、長時間の水の放置は絶対にしないでください。
また、長時間放置した水をそのまま使わないでください。

各部の名前



ご使用にあたって

水について

本製品は、常温の水道水をご使用ください。
ミネラルウォーター、アルカリイオン水等、水道水以外は決して入れないでください。
また、沸かした水道水など、40 度以上の水は入れないでください。

タンクについて

タンク内に酸やアルカリ性などの化学物質を入れないでください。
また、タンク内にアロマオイルを入れないでください。
故障・破損の原因となります。

ミスト吹出口 (ふた) について

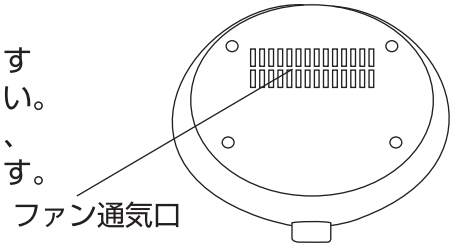
本製品は超音波により霧が発生します。
噴出時には、本製品の周辺に水滴が付くことがあります。
本体のふたを付けないで使用すると、霧が上に上がらず下に垂れてしまいますので、必ずふたを付けて使用してください。

自動運転停止機能について

水が無くなると自動的に停止し、インジケータランプが『赤』に点灯します。自動停止機能が働いても主電源は切れませんので、本体の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

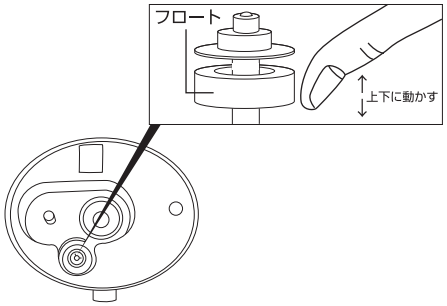
ファン通気口について

ファン通気口は本体の底部にありますので、常に綺麗にしておいてください。
ゴミやその他の物で塞がれていると、ミストが正常に出ない原因となります。



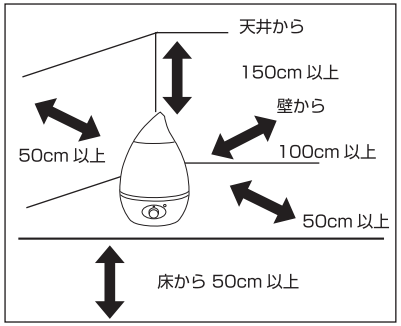
フロートについて

開封直後や長期保管後には、本体の水位センサーにあるフロートが固まり、水位センサーが正常に作動しない場合があります。お使いになる前に、フロートを指で上下に動かしてください。



置き場について

本製品は右図のような位置に置いてください。
霧が家具や壁に直接当たるようなところには置かないでください。
シミが付いたり、家具を傷めたりする原因になります。

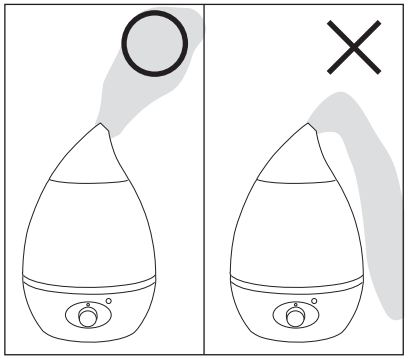


LED ライトについて

LED ライトスイッチを押して、本体の LED ライトの ON/OFF を行ってください。

ミストについて

本製品は、扇風機やエアコンの近くで使用しないでください。
これらの風の流れにより、ミストの流れの障害となり、加湿能力の低下の原因となります。



ご使用方法

使用前の準備

1. 本体を設置する

安定した水平な場所に設置してください。

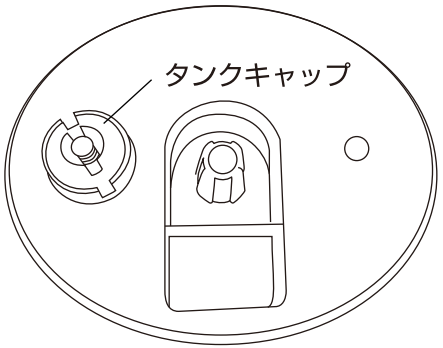
⚠ 注意	テレビ、ラジオなどから 2m 以上離して設置してください。 雑音が入る原因になります。

2. 給水する

①水タンクを持ち上げ、本体から外します。

②水タンクキャップを外してきれいな常温の水道水を入れてください。

③水タンクキャップを確実に締め、こぼれた水を拭き取り、水漏れが無いことを確認してください。



＜水タンク下部＞

⚠ 注意	・水道水外の水は使用しない。 ・運転終了後、再度給水する場合は水がこぼれやすい為、タオル等を準備し、本体や床が濡れないようにしてください。

3. 水タンクを本体に確実にセットする

水タンクを本体に確実にセットし、水と吹出し口 (ふた) を付けます。

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

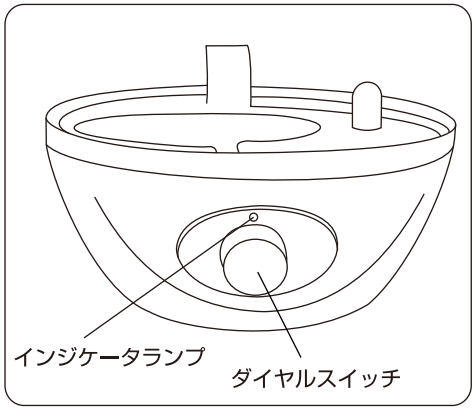
運転の開始 / 停止

1. 運転を開始する

ダイヤルスイッチを時計回りに回すと、インジケータランプが緑色に点灯し、運転を開始します。

2. 運転を停止する

ダイヤルスイッチを反時計回りに回すと、インジケータランプが消え、運転を停止します。



⚠ 注意	・冬場に就寝する際、暖房機を止めて室内の温度が 15 度以下になった状態で運転を継続すると結露が発生することがあります。室温が 15 度以下、湿度が 60% 以上になる状況が予測される場合は、加湿量を調節するか、使用を停止してください。 ・水タンクを本体にセットして、運転を開始しようとしても、インジケータランプが赤色に点灯し、しばらくは運転が開始されないことがあります。水タンクの水が本体に行き渡らないと、運転は開始しませんので、水タンクを本体にセットしてから、水が本体に行き渡るまで数秒～数分お待ちください。

加湿量の調整

・加湿量を増やす

ダイヤルスイッチを時計回りに回すと、スチームが強くなり、加湿量が増えます。

・加湿量を減らす

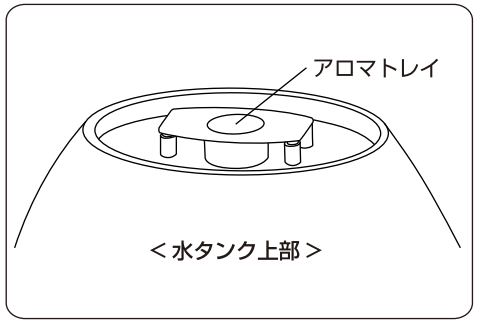
ダイヤルスイッチを反時計回りに回すと、スチームが弱くなり、加湿量が減ります。

アロマの使い方

1. 水タンクに水を入れる

2. アロマトレイにスポンジをセットし、アロマオイルを染み込ませる

水タンク上部のアロマトレイにスポンジをセットし、市販のアロマオイルまたはエッセンシャルオイルをアロマトレイの外側にこぼれないよう注意しながら、2〜3 滴スポンジに染み込ませます。



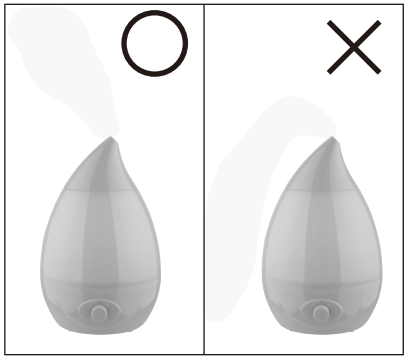
⚠ 注意	・アロマオイルまたはエッセンシャルオイルをアロマトレイから溢れるまで入れすぎない。 ・アロマオイルまたはエッセンシャルオイルがアロマトレイの外側に付着した場合は必ず拭き取る。 ・アロマトレイの外側にアロマオイルまたはエッセンシャルオイルが付着した状態で運転を開始しない。 ・スポンジが汚れてきた場合や違う種類のオイルまたはエッセンシャルオイルを使用する場合は、スポンジを洗うか、または交換してください。

3. 運転を開始する

P.10 の運転の開始 / 停止の手順に従い、運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。
アロマオイルまたはエッセンシャルオイルを入れない場合は通常の加湿器としてご使用ください。

ミストについて

本製品は、扇風機やエアコンの近くで使用しないでください。
これらの風の流れにより、ミストの流れの障害となり、加湿能力の低下の原因となります。



お手入れ方法

本体のお手入れ (週に 2 回以上)

・本体に残っている水をきれいに捨て、よく乾燥させてください。
・ファン通気口の埃を掃除機などで清掃してください。
・本体の汚れは、ぬるま湯か台所用洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭き取り、更に乾いた布でやさしくからぶきをしてください。
※強くこすらないでください。傷がつく原因になります。

水タンクのお手入れ (週に 2 回以上)

・水タンク内に水を入れ、水タンクキャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。(これを2〜3 回繰り返します。)

※水タンクは必ず水で洗ってください。
お湯で洗うと変形の恐れがあります。また洗剤等で洗うと故障の原因となりますので、洗剤等は使わないでください。

⚠ 注意	・ベンジン、シンナーを使用して掃除をしない。 ・水タンクおよび本体内の水は毎日新しい水道水と入れ替える。 ・水道水以外を使わない。

保管方法

「お手入れ方法」に従ってお手入れ・清掃後、本体内部の水分をよく拭き取り、陰干しして十分に乾燥させてください。ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ないところに保存してください。

こんなときは

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	・電源プラグをしっかり差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	・水が無い、または少ない	・給水する
	・本体内部が汚れている	・P.12「お手入れ方法」に従って掃除する
霧がにおう	・本体内部や水タンク内が汚れている	・P.12「お手入れ方法」に従って掃除する
	・水道水以外を使用している	・水タンクに残っている水を捨て、P.12「お手入れ方法」に従って掃除する

⚠ 警告 修理技術者以外の人は分解したり修理をしたりしない。

商品詳細

品番	J22
定格電圧	100V 50/60Hz
消費電力	34W
サイズ	19×16.5×29.5cm
タンク容量	1.6L
加湿量	最大 300ml/h
適応床面積	木造和室 /10 畳、プレハブ洋室 /18 畳
噴霧方式	超音波振動加湿方式
材質	タンク /AS 樹脂、本体 /ABS 樹脂
	その他 / ポリプロピレン
重量	約 710g
連続使用時間	約8時間
運転音	35dB
コード長	105cm